

人とのつながりがくらしをつくる

離島の地域づくりから考える社協の姿

(オンラインシンポジウム)

1. 趣 旨

我が国には、400を超える有人の離島があります。その多くは、少子高齢化や過疎、人口減少という厳しい課題がありながらも、住民同士の強いつながりや豊かな関係性により、暮らしと結びついたボランタリーな助け合い活動が日常的に、そして自然に生まれてきています。このような離島の課題を解決するため、社会福祉協議会はどのように住民やボランティアと関わり、より豊かな支えあいの暮らしづくりを進めているのでしょうか。そこには、私たちがめざす地域共生社会づくりにむけたヒントがあると思われま

す。今回は、オンライン（Zoom）により3つの離島の社会福祉協議会を結び、各地の実践から学ぶとともに、参加者どうしの意見交換を通じてこれからの地域共生社会づくりを考えます。ぜひご参加ください。



2. 日時・開催方法

2021年7月28日（水）13時30分～16時

※オンライン（Zoom）により開催。

3. 参加対象

- ・ 月刊「ボランティア情報」読者
- ・ 都道府県・指定都市、市区町村社協
- ・ ボランティア・市民活動推進者 等

4. 参加費

無料

5. 定 員

300名（定員に達し次第、募集を締め切りますので予めご了承ください）

6. プログラム (2021年7月28日(水))

時間	内容
13時30分	<p>■開会・オリエンテーション</p>
13時35分 ～14時55分 (80分)	<p>■シンポジウム</p> <p>離島の社協が進める地域住民の暮らしと助け合いの実際、ボランティアの協力により取り組まれる実践を通じて、わが国すべての地域で地域共生社会づくりを進めるためのヒントを学びます。</p> <p><シンポジスト(実践報告)社協></p> <p>○東京都伊豆大島 大島町(人口7,340人/令和3年5月末現在) 大島社会福祉協議会</p> <p>平成25年に発生した台風26号災害では、約8,000人のボランティアを受け入れ、「被災者に寄り添う」理念で活動してきました。現在、地元の高校生とともに子どもたちへの学習支援にも取り組んでいます。</p> <p>○鳥根県隠岐島 海士(あま)町(人口2,266人/令和3年4月末現在) 海士町社会福祉協議会</p> <p>民生委員・児童委員の協力による実態調査、住民座談会の開催などを通じて住民の困りごとを把握するとともに、ボランティアの協力を得て、さまざまな相談活動、経済的困窮の方々への支援を進めています。</p> <p>○沖縄県与那国島 与那国町(人口1,700人/令和3年5月末現在) 与那国町社会福祉協議会</p> <p>生活支援体制整備事業による取り組みでは、「福祉サポーター」として地域住民どうしの助け合いを推進。空き家を活用したサロン活動や、高齢者世帯の生活上の困りごとに積極的に対応しています。</p> <p><コーディネーター> 辻 健一さん(鹿児島県社会福祉協議会 ボランティアセンター所長)</p>
14時55分 ～15時	休憩(グループに移動)
15時 ～15時45分 (45分)	<p>■グループ情報交換</p> <p>シンポジウムの学びをふまえ、4人程度のグループに分かれ、参加者同士で情報交換を行います。</p>
15時45分 ～16時 (15分)	<p>■全体での共有</p> <p>グループ情報交換の学びを全体で共有します。</p>
16時	終了

7. 申込方法

全社協「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」ホームページの専用申込フォームからお申込みください。

<https://www.zcwvc.net/20210728>

または、**地域福祉・ボランティア情報ネットワーク** で検索

申込いただいた方には、7月26日（月）までにEメールで参加方法をご案内します。

8. 申込締切

令和3年7月21日（水）（定員に達し次第、募集を締切ります）

9. 誌面掲載について

この学習・交流会のようすは、月刊「ボランティア情報」8月号（2021年8月発行）の特集に掲載予定です。なお、オンライン会議のようすを写真紹介する場合がありますのでお含みください。

（お問い合わせ先）

全社協 地域福祉部 / 全国ボランティア・市民活動振興センター

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

電話 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 Eメール vc00000@shakyo.or.jp